

世の中にあるそろばん教室は、ほとんどがどこかの珠算連盟に所属していることが一般的であり、加盟する連盟によって検定試験の種目、実施時期、合格ラインや難易度などが違ってきます。普段、あまり気に留めていないし、たぶん連盟についての詳細はご存じない方が大半だと思いますので、今回はそのあたりのお話です。

➤ そろばんの連盟とは？

べつに連盟に加盟しなくてもそろばん教室を運営することは可能なのですが、いざ検定試験を受験しようとなると、あまり聞いたことのない任意団体の試験よりも、社会的に認められた連盟が主催する試験の方が信頼性が高まります。その上、各連盟では定期的に競技大会を主催したり、指導者講習会を行うなど、そろばん業界を盛り上げるための旗振り役も務めています。

代表的なものとして、全国教育珠算連盟(全珠連)・日本珠算連盟(日珠連)・全国珠算学校連盟(学校連盟)・全国珠算連盟(全国連)あたりが有名です。パッと見ると似たような漢字ばかりで間違えてしまいそうですが、これらはいったい何が違うのでしょうか？ もちろん、4つとも全く別の団体ですが、実質的には全珠連(ぜんしゅれん)と日珠連(にっしゅれん)の加盟教室で国内のそろばん教室の9割ほどを占めますので、今回はこのふたつに絞っていきます。

▼△▼ 全珠連と日珠連の違い ▼▲▼

名称		全国教育珠算連盟(全珠連)	日本珠算連盟(日珠連)
後援・協力		文部科学省	日本商工会議所
そろばん 検定試験 (3級以上)	実施回数	年6回	年3回
	種目	かけ算・わり算・見取り算・伝票算 ・あん算・応用計算・(開法)	かけ算・わり算・見取り算 の3種目のみ
	難易度	★★	★★★
法人の種類		公益社団法人	一般社団法人



検定試験の制限時間・合格ラインなど

(全珠連種目の開法は段位で出題される√の問題)

▲全珠連…各種目ごとに時間設定(3分間・7分間・10分間)されており、100点(150点満点)が合格ライン。かけ算・わり算・見取り算は必須のため1種目でも落とすと不合格。伝票・暗算・応用のうち1種目は100点未満でもOK。

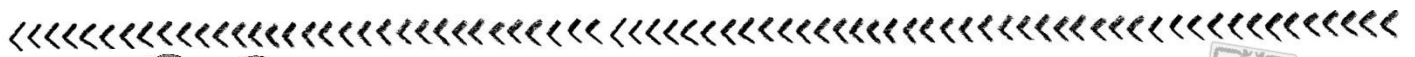
▲日珠連…制限時間は3種目通して30分間(得意な種目をたくさんやっても良いし、苦手種目は後回しでも良い)、合格ラインは3種目の合計点が対象。例えば3級の場合、300点満点中、240点以上で合格となる。

△暗算検定(段位)…全珠連は小数のかけ算・わり算がバンバン出題され、多くの生徒が小数点の位置に苦勞する😓。

日珠連はすべて整数の問題となる代わりに全体的に桁数が大きくなり、特に見取りが最難関である。

*二つの連盟をザックリと要約すると、全珠連はそろばんを入り口とした幅広い応用力を養う、日珠連は計算する量が多く圧倒的なスピード力を身につける、という感じになりそう…。どちらの連盟が良い・悪いという訳ではなく、それぞれに特色があって面白いですし、各連盟を通じてそろばんの魅力を社会に更にアピール出来ていけば良いのになぁ〜と希望します。

*当教室は現在、全珠連のほうに加盟中 *全珠連・日珠連ともに愛知県の教室数が全国で最多…そろばん王国愛知!



そろばん競技大会(12月4日)



毎年恒例の12月に開催される東三競技大会(第二部)に合わせて、今回はもう一つ別の競技大会(第一部)を同時開催することにしました。東三競技大会(第二部)は一定級以上の生徒を対象としていますが、第一部の方はそれ以外の生徒を対象としています。問題形式は、夏のパチパチ競技大会と同じとなる予定。

◆第一部…競技会当日に優勝・準優勝・3位を発表します。参加者の学年・級位・学習年月などバラバラですが、出来る限りフェアになるよう個別に追加点を設けます。どの生徒も入賞するチャンスはありますよ〜。頑張りましょう!

◆第二部…豊川・新城地区の各そろばん教室でもそれぞれ開催するので、入賞者の発表は12月20日過ぎとなる予定。各学年ごとに優勝・準優勝・3位が発表され、入賞者にはトロフィーと賞状が授与されます。

ともに11月中旬ごろから競技大会用の練習をスタートします。生徒の中には11月の全珠連検定と重なってしまう生徒もいますが、時間の使い方など上手に工夫しながら取り組んでいきましょう。